

令和7年度障害者総合福祉推進事業 結果概要

「補装具費の原材料等価格及び従業員給与に関する調査研究」について

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
企画課 自立支援振興室

実施概要

事業概要

- 補装具の原材料等仕入価格や輸送コスト、従業員給与等の実態を調査することにより、令和9年度告示基準額改定のための基礎資料を作成

実施主体

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

調査対象

- 補装具費支給対象の全16種目
(義肢、装具、姿勢保持装置、車椅子、電動車椅子、視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、車載用姿勢保持装置、起立保持具、歩行器、排便補助具、歩行補助つえ、重度障害者用意思伝達装置、人工内耳(音声信号処理装置の修理))

従業員給与調査方法・回答率

- 義肢、装具、姿勢保持装置、車椅子、電動車椅子を製作し、利用者へ納める補装具製作事業者(個人事業主を除く)に対して調査を実施
- 義肢装具士と義肢装具士以外の製造職について、令和4年と令和7年の9月・10月給与、令和3年と令和6年の特別給与総額を調査し、令和4年と令和7年の時間単価と令和7年の給与月額を算出
- 事業者の収支を把握するため、売上高、営業収益、営業利益を調査し、営業利益率を算出
- 回答率は69.5%(日本義肢協会員、日本車椅子シーティング協会員334社に配布し、232社が回答)

原材料等価格調査方法・回答率

- 補装具を製作し利用者へ販売する補装具製作事業者には材料仕入れ価格を、補装具を製品として仕入れて販売する補装具販売事業者には製品仕入れ価格を、補装具製作事業者に材料を販売する材料卸売り事業者には卸売り価格を、補装具製作事業者に車椅子・電動車椅子を販売する事業者には材料の仕入れ価格を調査
- 主に令和4年と令和7年における価格を調査
- 回答率は56~100%(種目ごとに調査先が異なるため、回収率にばらつきがある)

報告書掲載URL

- https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2026/04/koukai_260428_04.pdf

従業員給与調査

給与調査結果概要

- 時間単価の平均値の増加率は義肢装具士で5.7%、義肢装具士以外で6.8%
- 給与月額に換算すると、義肢装具士が382,700円、義肢装具士以外が342,400円

N=[131]

	義肢装具士			義肢装具士以外の製造職		
	R4	R7	3年間の増加率	R4	R7	3年間の増加率
特別給与を含めた 時間単価 [円]						
平均値	2,030	2,145	5.7%	1,886	2,014	6.8%
中央値	1,996	2,091	4.8%	1,862	2,011	8.0%
現金給与総額	—	382,700	—	—	342,400	—

※ 現金給与総額は、令和7年9月1日、10月1日を含む2か月間の給与総額を2で除した「給与等」に、令和6年の10月1日を含む会計期間1年間に支払われた、賞与、期末手当等の総額の1/12を「特別給与」として加えて算出した額。

営業利益率調査結果概要

- 営業利益率の平均は2.7%
- 補装具製作事業者のうち、売上げの中で電動車椅子が最多の事業者の営業利益率は全て5%未満

※ 営業利益が義肢・装具等の事業に限定されるよう、介護保険向けレンタル事業などの他事業を除いて回答するように、事前説明を実施
営業利益は「本業の売上高」-「製造原価・販管費」として求めた

	営業利益率			営業利益率				合計
	R4調査	今回調査		0%未満	0-5%未満	5%-10%未満	10%以上	
平均値	2.2%	2.7%	売上げの中で義肢が最多の事業者 [N=52]	18.8%	50.0%	20.8%	10.4%	100%
中央値	2.0%	2.1%	売上げの中で装具が最多の事業者 [N=124]	29.1%	37.9%	21.4%	11.7%	100%
			売上げの中で姿勢保持装置が最多の事業者 [N=27]	28.0%	60.0%	0.0%	12.0%	100%
			売上げの中で車椅子が最多の事業者 [N=24]	13.3%	46.7%	20.0%	20.0%	100%
			売上げの中で電動車椅子が最多の事業者 [N=3]	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100%

※ 無回答 [N=2]

原材料等価格調査

価格調査結果概要

- 種目別では車椅子、義眼、重度障害者用意思伝達装置を除いて10%を超える増加傾向 ※電動車椅子では53.2%
- 材料別では、金属材料はアルミ板金部品の75.7%、樹脂材料はウレタンスポンジの19.6%、その他は電装部品[ハーネス類]の114%の平均上昇率が大きい

種目別の平均上昇率

調査種目	平均上昇率	調査時点の間隔 [年]
義肢	17.9%	3
装具	19.0%	3
姿勢保持装置	19.2%	3
車椅子	8.2%	3
電動車椅子	53.2%	3
視覚障害者安全つえ	21.3%	4
義眼	2.7%	2
補聴器	12.8%	3
車載用姿勢保持装置	10.7%	3
起立保持具	14.2%	3
歩行器	17.5%	3
歩行補助つえ	12.5%	3
重度障害者用意思伝達装置	6.2%	2

材料別の平均上昇率

材料 (括弧内は使用する種目)	平均上昇率
金属材料	
超ジュラルミン棒材 (装具)	11.8%
ステンレスパイプ (姿勢保持装置)	13.3%
アルミパイプ (車椅子)	5.9%
アルミ板金部品 (電動車椅子)	75.7%
樹脂材料	
アクリル樹脂 (義肢)	12.2%
ポリプロピレン板 (装具)	9.7%
ウレタンスポンジ (姿勢保持装置)	19.6%
樹脂成形品 (車椅子)	12.6%
その他材料	
ギプス包帯 (義肢、装具、姿勢保持装置)	28.6%
グラスファイバー (義肢)	36.8%
電装部品[ハーネス類] (電動車椅子)	114.0%

※参考 R4からR7の企業物価指数の上昇率

分類	平均上昇率
金属製品	181%
非鉄金属	25.7%
プラスチック製品	8.7%
窯業・土石製品	27.5%